

白血球が新型治療で

赤血球に愛されるっ!!



同素体式免疫細胞治療

細胞を苗床にする次世代治療の一つ。治療に使用される免疫細胞は、患者自身の細胞を苗床とするため、治療に対する身体の拒絶反応が非常に少ない。

細胞隔離剤「REI-No.heya」

本治療で最初に投与される薬剤。免疫細胞の苗床となる、1組の細胞の選定が目的。細胞同士の相性を判断し、相性が認められた細胞へ各種フラグや器官を付与する効果を持つ。苗床となる細胞をセットで一旦隔離し、各種成分に晒して、細胞同士が結合するか相性を確認する

隔離される細胞

苗床候補として隔離される2つの細胞は、「ペア細胞」と呼ばれ、母体となり免疫細胞を生成する雌フラグ側と、環境維持および栄養素を届ける雄フラグ側セットで扱われる。

隔離した細胞が最初に作用するのは細胞壁を溶かす成分であり、次に結合誘発成分などが作用する。



抵抗反応

隔離された細胞の相性が悪かった場合の反応。溶解剤によって細胞壁が溶かされる前に、隔離用の成分が細胞によって破壊される事を指す。相性のいい細胞を効率的に隔離できないことが、本治療の効果を保証できない一因となっており、治療法最大のネックとなっている。



受入反応

隔離された細胞同士の相性が良い場合の反応。細胞が寄り添い、一定期間動かない状態を指す。薬液の効果によって細胞壁が外れた箇所から、結合誘因成分(ii-Funiki)が細胞内へ浸透する。この成分はペア細胞の細胞壁溶解箇所の接触を契機に、細胞に対して雄雌フラグに沿った機能を、細胞核へ生成させる効果を持つ。



結合反応

雄雌フラグ付与後、最初の免疫細胞生成を指す。核に生成された免疫細胞生成器官を結合させ、2～数時間程度掛けて最初の免疫細胞の胚を生成する。この間、細胞のペアは互いへの従順反応に染まっていく。本反応を以て正式に「相性良し」と判断され免疫治療の一番初期の段階をクリアすることになる。



婚姻フラグ細胞

結合反応が終了したペア細胞へ、隔離剤からの放流時に婚姻フラグの付与が完了した状態。

フラグは二つの要素で構成される。

- ・結合済みフラグ「ペアリング」
- ・ペア識別フラグ「ペアパッチ」

主にペア判定の重複を防ぐ効果がある。



めおと
「夫婦細胞」への変化

放流された細胞は、全身を一旦回遊し、最終的に患者の精髓部へ移植された免疫細胞培養機器にて再度隔離され、ペア細胞と再度合流する。合流後、ペア判定の固定化(夫婦細胞化)および培養機器への細胞情報の登録が行われる。

※合流前の状態でも免疫細胞の育成は続くため、雌フラグ側の細胞は一部が多少肥大化している場合が多い

機器への登録完了をもって、免疫治療の第二段階が完了する。俗にこの機器登録は「拳式」と表現される。





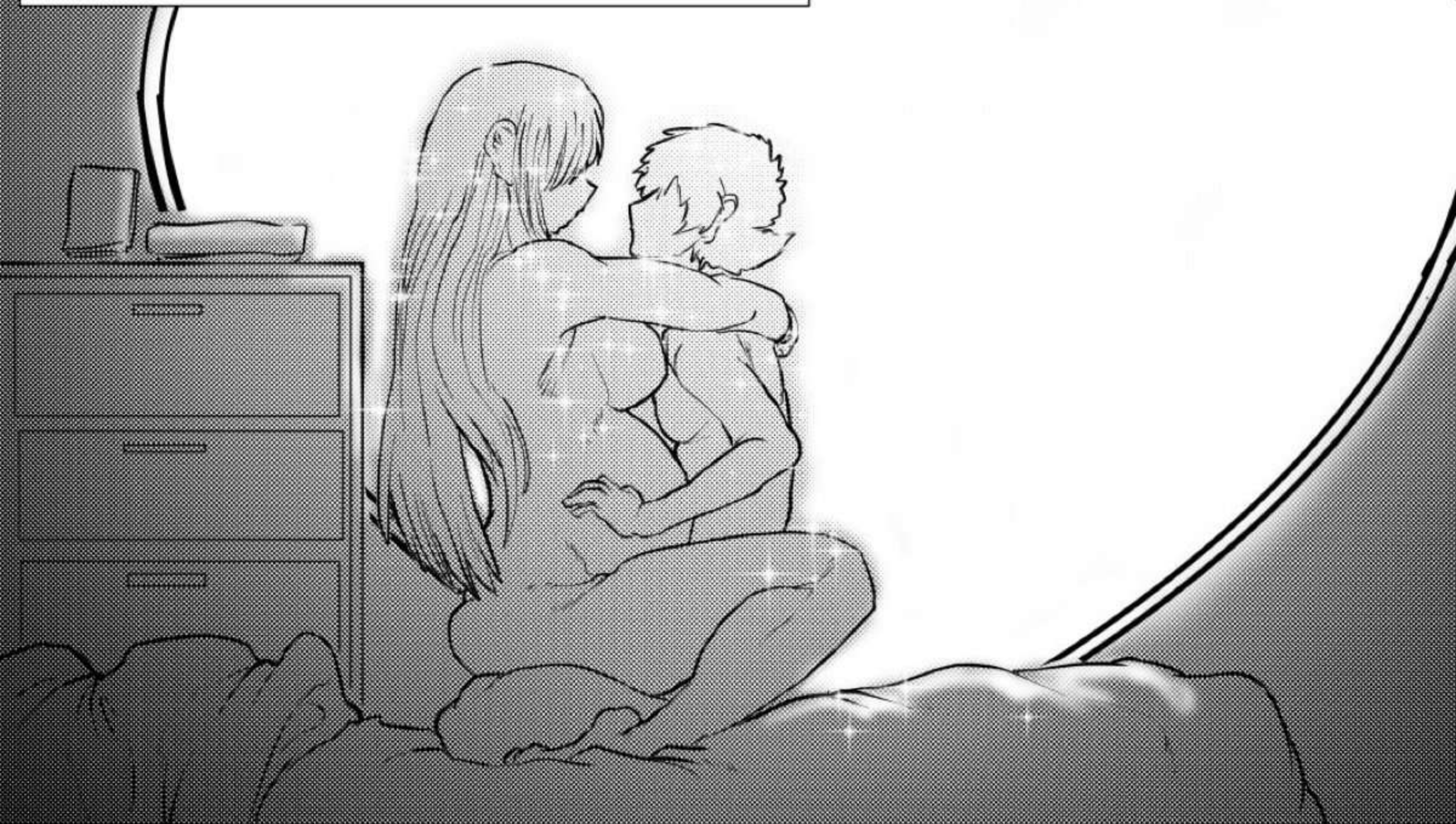
交流機構

培養機構

滅菌機構

免疫細胞培養機器

夫婦細胞の保護、免疫細胞生成を補助する機器。細菌などを撃退する「滅菌機構」と、全身の状態情報などを交換・取得する「交流機構」、夫婦細胞が免疫細胞を生成する「培養機構」で構成されている。第1期治療用の機器構成(一般名称「I-No.su」)は夫婦細胞による細胞自然生成を促す設定である。



細胞生成区画

雌フラグ細胞から免疫細胞を取り出す挙動は培養機構内の専用区画にて行われる。雄フラグ側の細胞から隔離する理由として、摘出する際に母体が大きく悶動するため、ペア細胞同士で損傷を防ぐ意味がある。



幼体準備期間

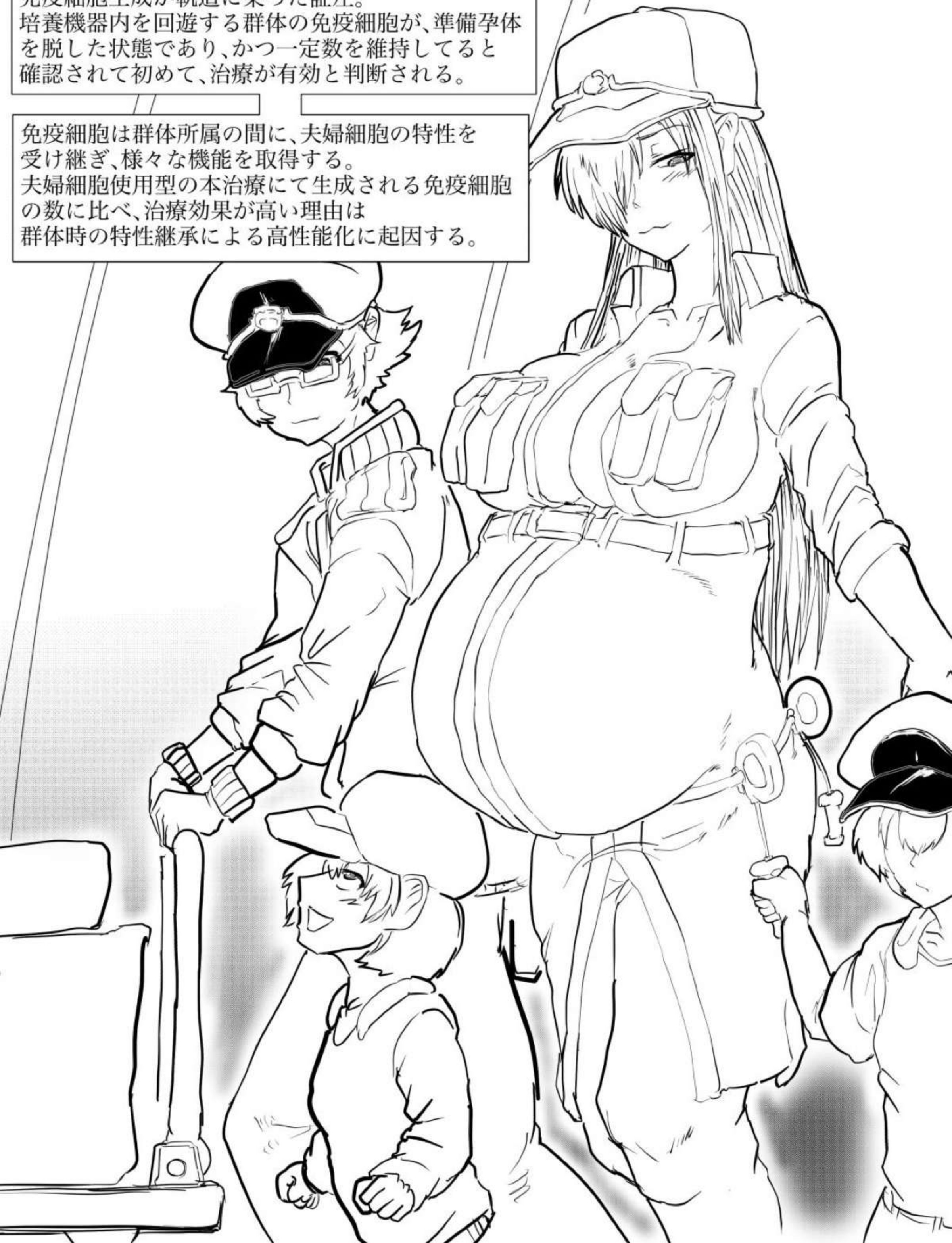
生成した免疫細胞の調整・教育を行う期間のこと。
摘出された直後の免疫細胞は「準備幼体」と呼ばれ、
安定性に乏しい。
そのため、培養機構から出ず、夫婦細胞の元で栄養を
受けながら安定化を図る。
この期間は雌フラグ側細胞の回復期間も兼ねている。



一親等細胞群

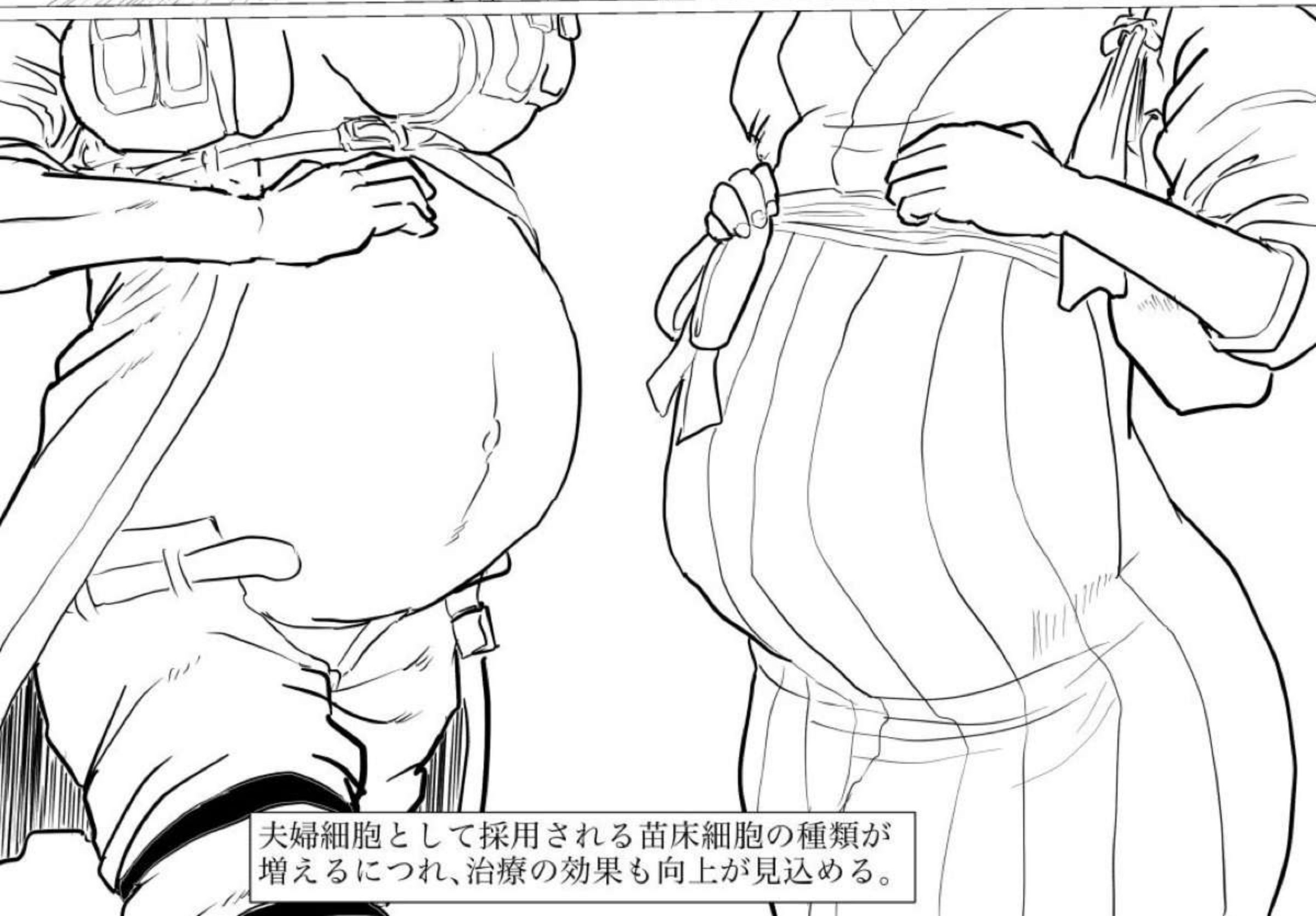
夫婦細胞と生成された免疫細胞の群体をさす。
免疫細胞生成が軌道に乗った証左。
培養機器内を回遊する群体の免疫細胞が、準備孕体を脱した状態であり、かつ一定数を維持していると確認されて初めて、治療が有効と判断される。

免疫細胞は群体所属の間に、夫婦細胞の特性を受け継ぎ、様々な機能を取得する。
夫婦細胞使用型の本治療にて生成される免疫細胞の数に比べ、治療効果が高い理由は群体時の特性継承による高性能化に起因する。



夫婦細胞の増加

同素体式治療の第四段階(安定期)の状態を指す。機器に登録されるペア細胞の数が増加し始め、培養機構の各区画で免疫細胞の生成が行われる状態。この状態へ到達することが同素体式治療の一区切りであり、治療効果を期待できるようになる。今後は治療効果の確認と、状態維持が目標となる。



夫婦細胞として採用される苗床細胞の種類が増えるにつれ、治療の効果も向上が見込める。

交流機構の活性化

同素体式治療の第四段階に入ると夫婦細胞の数が増加するため、必然的に情報取得するための交流機構が活性化する。
従来の健康情報取得に加え、夫婦細胞同士での細胞機能の情報交換が発生するようになる。
結果、生成される免疫細胞の多機能化が実現する。





産後経験輪

雌フラグ細胞の細胞壁に現れる、免疫細胞を大量に生成した跡。
細胞内で免疫細胞を生成する度に拡張・収縮を繰り返した跡。人間で言うところの産後腹。
夫婦細胞型では細胞の回復期間があるため、細胞壁に跡が発生しづらい。
この跡をもつ夫婦細胞を確認できた場合、同素体免疫治療は成功したと判断される。

※相性の良い雄フラグ細胞や生成スパンの順守など、免疫細胞を長期継続生成する条件を揃えることが跡の発生する条件である。
つまり、自己生成が可能になった証左となる。

※見付きづらい要因の一つとして、発生する夫婦細胞は必然的に相性がいいため、ほとんどのタイミングで免疫細胞を生成中で、細胞壁が伸びている状態だった、という事情もある。





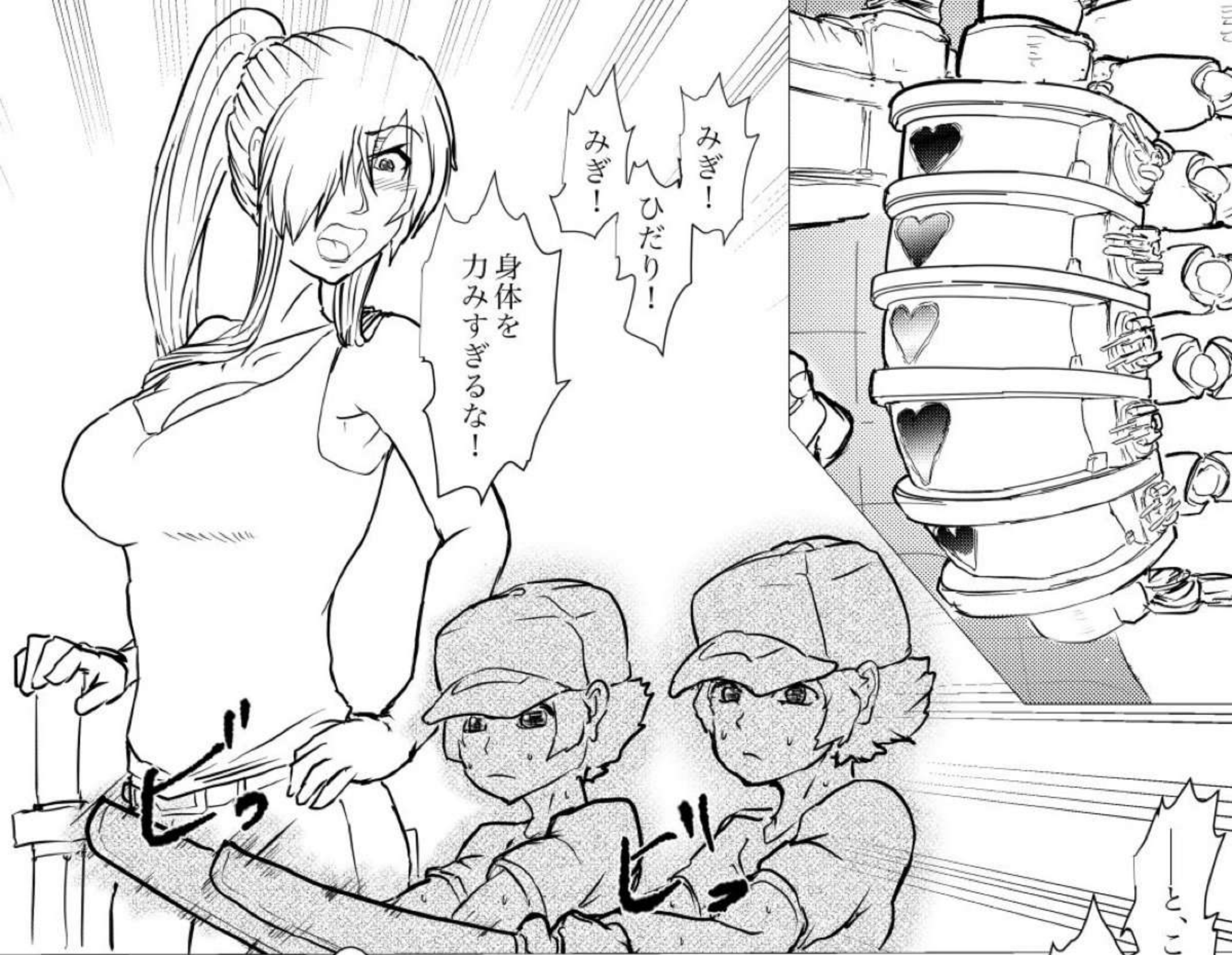
治療後の機器について

免疫治療完了後、患者の体内へ埋め込まれた免疫細胞培養機器は、基本的に撤去されず夫婦細胞に使用され第二の脊髄として機能する。



夫婦細胞型の利点

同素体式治療の夫婦細胞型は、順調に治療が進んだ場合、患者自身の身体が強力な免疫細胞を生成し続けるようになるため、いずれ外部投薬が必要なくなる可能性がある。即効性と確実性の保証がないものの、リターンは非常に大きい新世代の治療法といえる。



みぎ!

みぎ!

ひだり!

身体を
力みすぎるな!

ビッ
ビッ



と、ここまで!

風呂の時間だ!
汗を流せ!

ああ
手が掛からないな

順調ですね

ガ
チャ



さすがに汗をかいたな

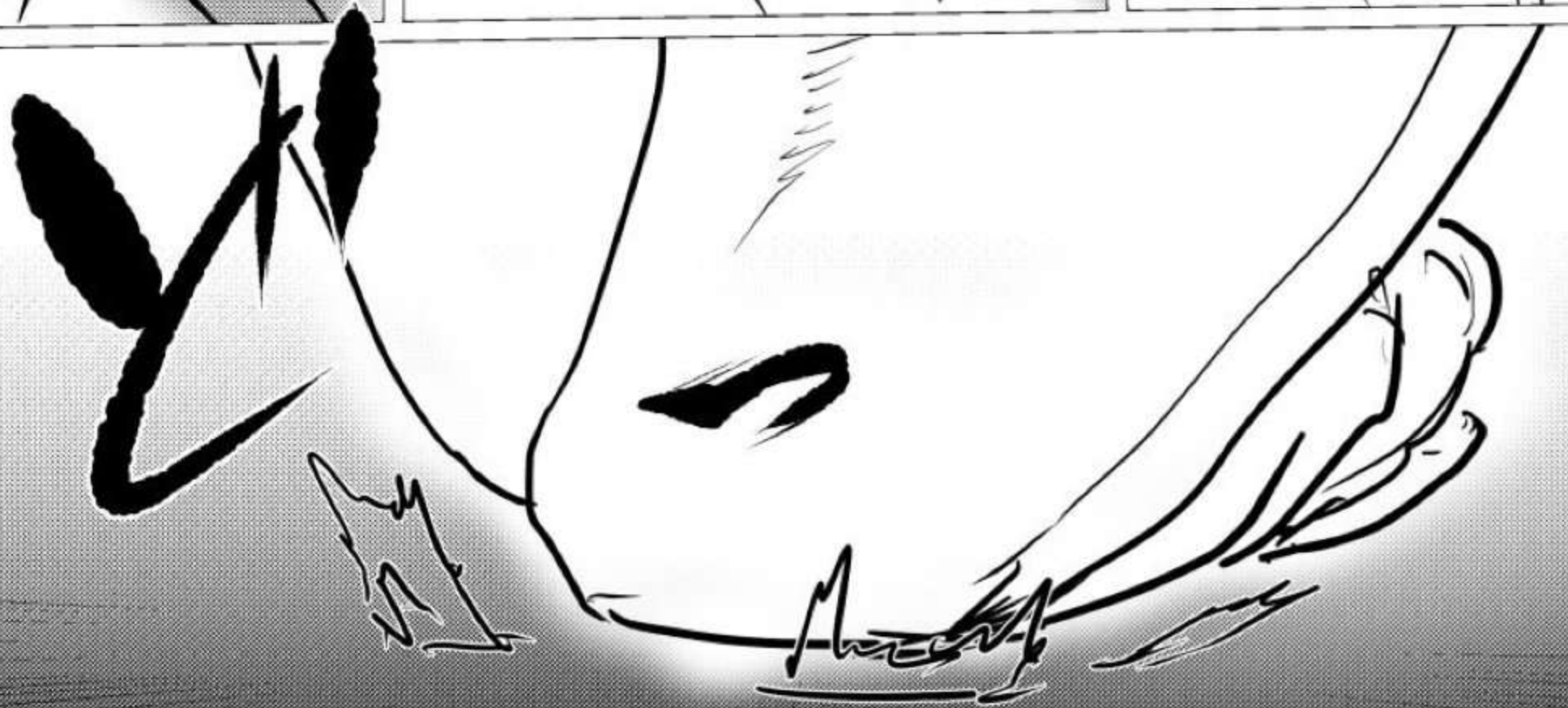
早くシャワーを



浴びにー

熱中系結合反応

前後の挙動に関係なく結合反応が突然発生し、ペア細胞の細胞壁を解体し始める状態をさす。種胚挿入管による細胞同士の結合によって反応がゆっくりと解消されていく。夫婦細胞の間で、いずれかの挙動が引き金になる場合が多く、予想することは難しい。





?

おかしーさん、
どうかしたー?

な、なんでもない

一人で

洗、える

な?

はい

はい

わあ!

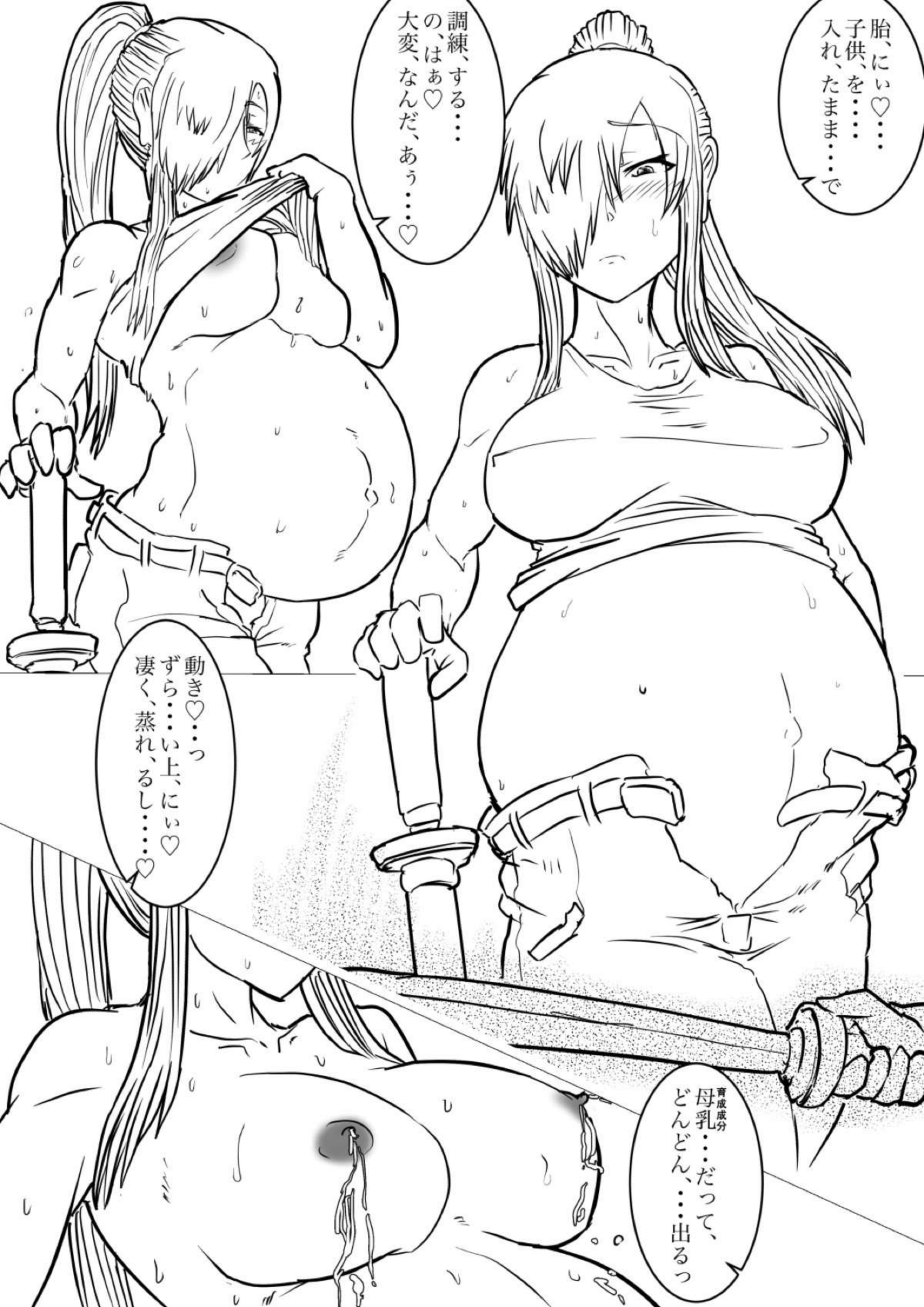


胎、にいい♡
子供、を……
入れ、たまま……で

調練、する……
の、はあ♡
大変、なんだ、あう……♡

動き♡……っ
ずら……い上、にいい♡
凄く、蒸れ、るし……♡

育成成分
母乳……だって、
どんどん……出るっ





な、なあ

赤血、球っ♡

聞いて

さる♡

かあ♡

お♡ほおお♡

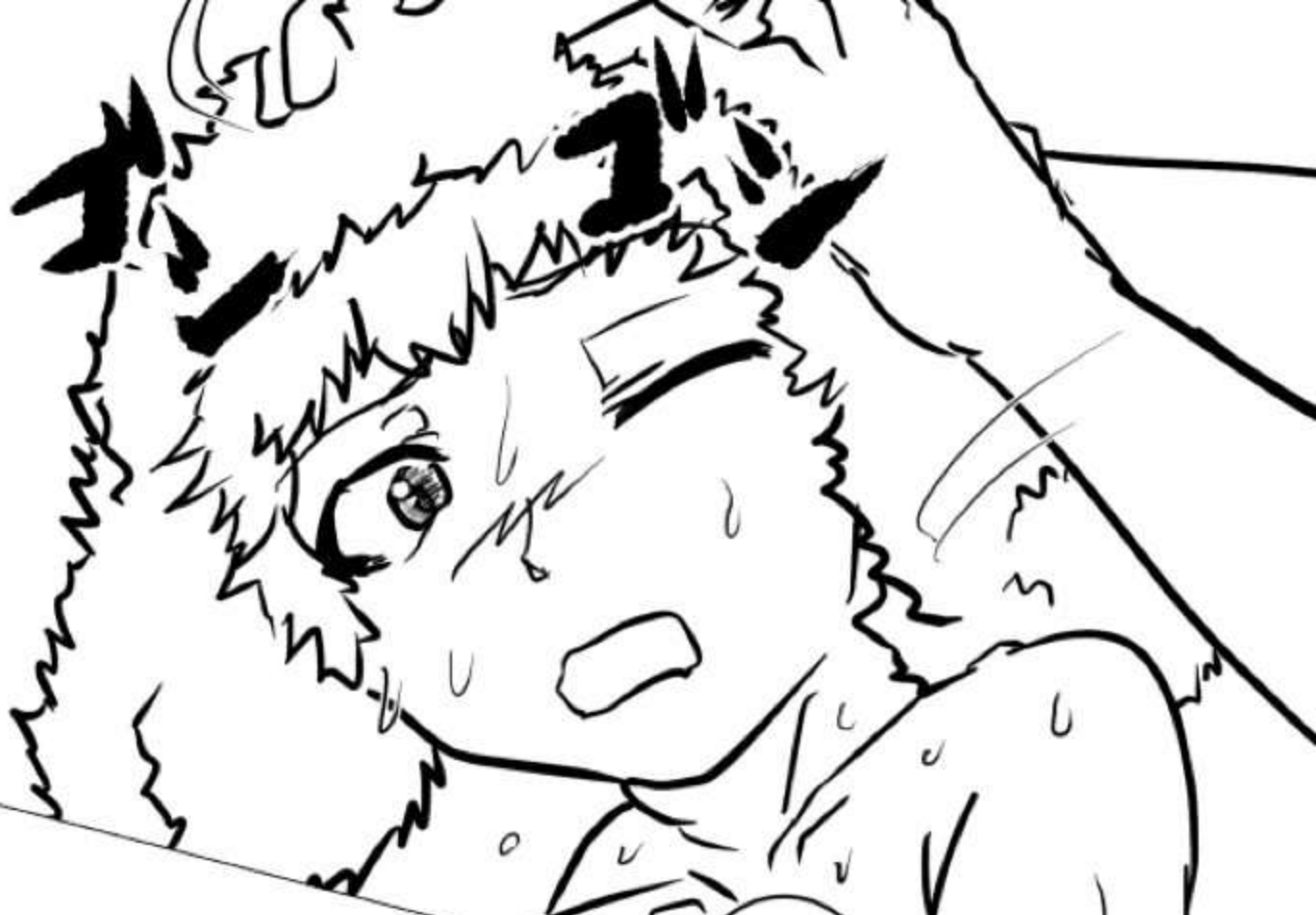
お♡♡

お♡

お♡♡

お♡♡





あれ？
おかーさん。

なんで
ズボン履いて
ないの？

これから
風呂に入るからさ

な、
なんでもないよ

おとうさんと
一緒にね



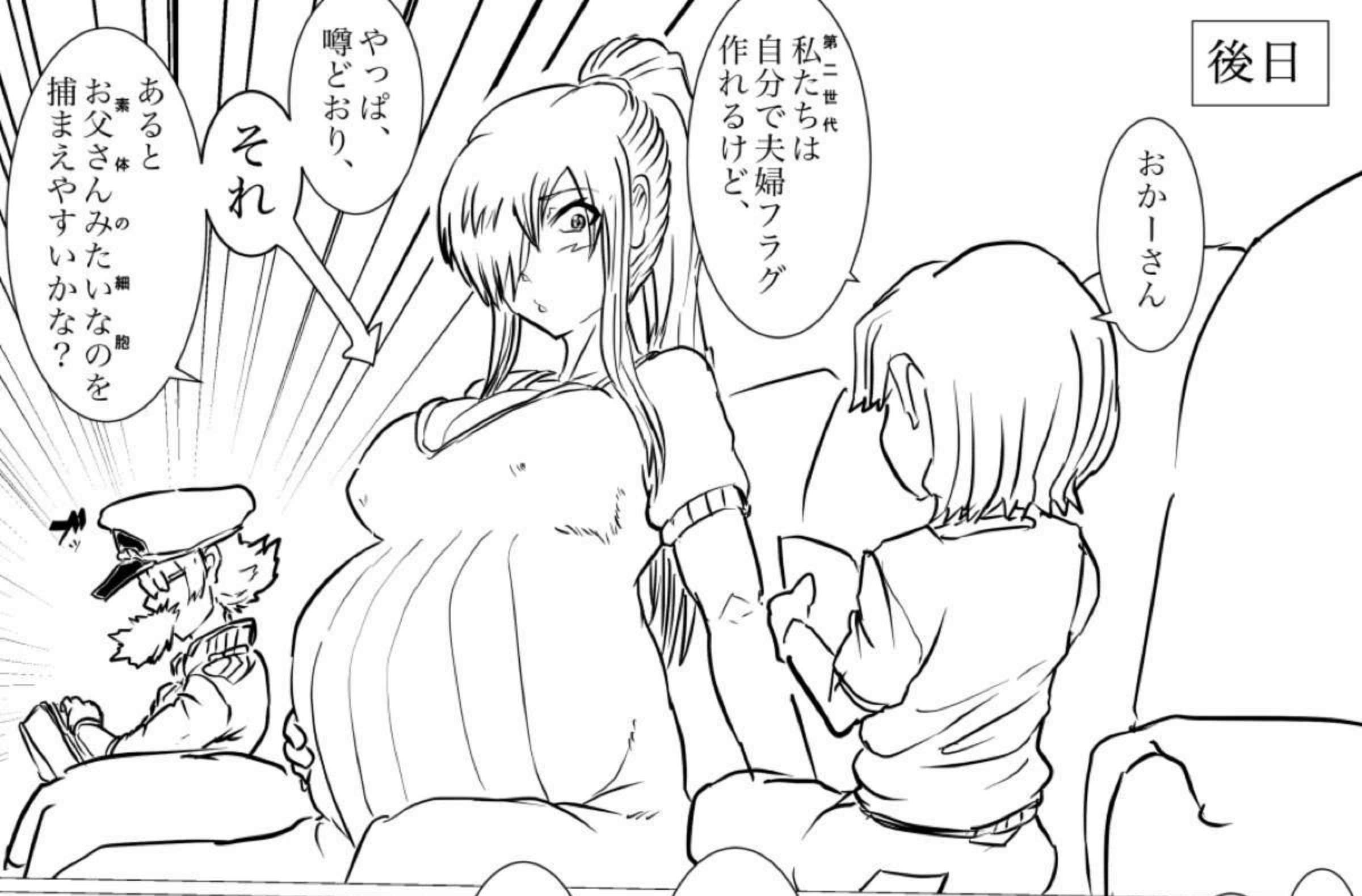
おかーさん

第二世代
私たちは
自分で夫婦フラグ
作れるけど、

やっぱ、
噂どおり、

それ

あると
素体
お父さんみたいな細胞
捕まえやすいかな？



また

その噂って
誰から聞いたんだ？

いつも来る
白血球の
おねえちゃん

そうか、
どつちのだ？

青い方の
ねえちゃん

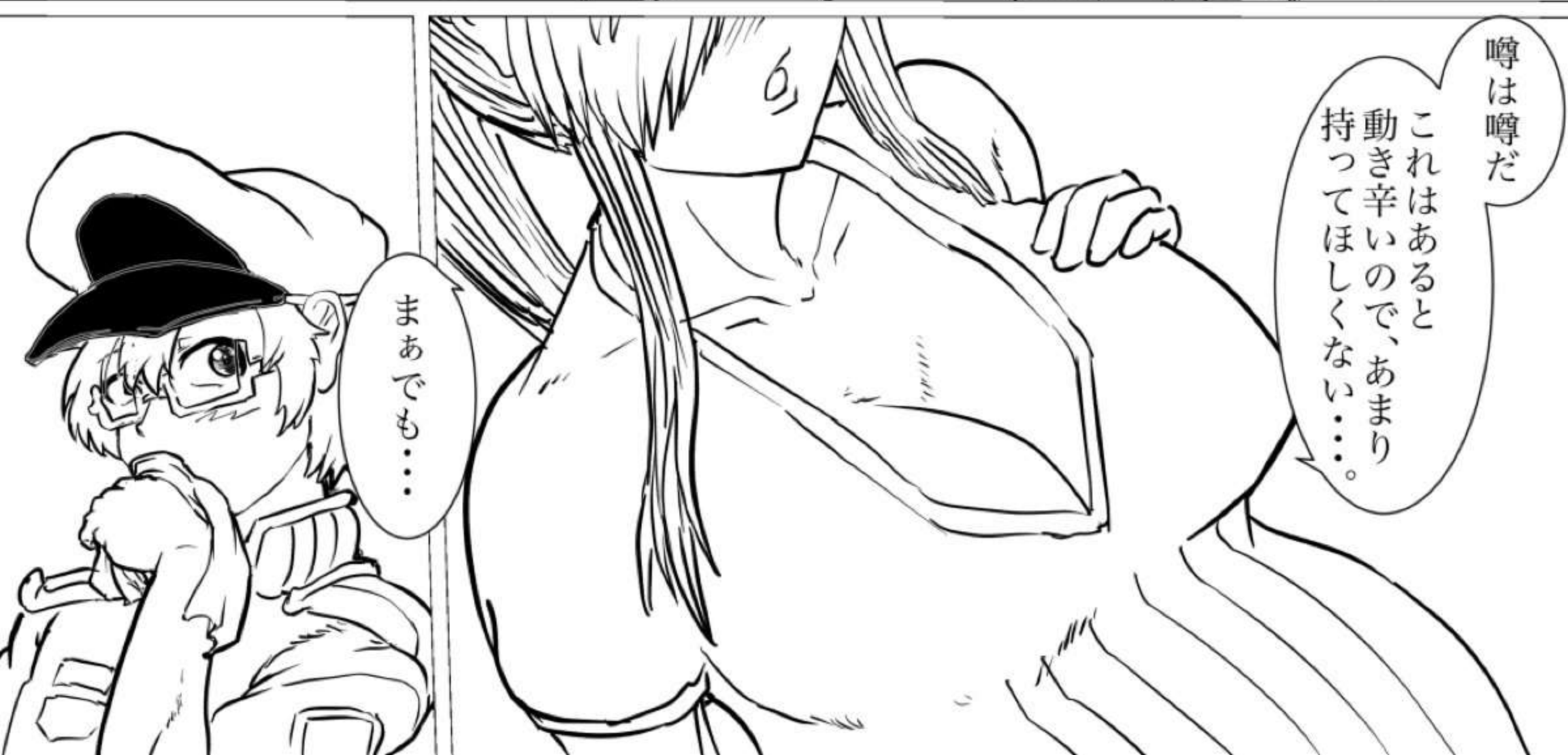
あいつめ……



噂は噂だ

これはあると
動き辛いので、あまり
持つてほしくない……。

まあでも……





捕まえた後、
相手をコントロール
するのには
便利かもしれないな？

ちら、



みんな、
今日は
早く寝ようね

うん、
今夜ね

お父さんは
お母さんとちよつと
お話をするんだ

えー？
なんでー？

ふーん

ムフム...

養反応

婦細胞が見せる反応。動、細胞が生成器官を自発的に変形する反応指す。

や免疫細胞が存在する場合は、にのみ、培養反応まで至る。

……またか？



生成反応

する最初期の反応。
必要な情報を登録した種胚を直え付ける。
を受け付けるために、雄フラグ細胞側は生成器官へ複数回アクセスする。

支援絵は、結合反応のプロセスをより詳細に解説したもの！
全ページ新規絵(出産シーン含む)で
ご用意しています！





求愛反応

夫婦細胞が免疫細胞を生成する際、一番最初に発生する反応。多くの場合に、雄フラグ登録された細胞が雌フラグ登録された細胞に接触して発生する。

反応後、免疫培養反応が発生するかは牡牝ペアの相性次第で変化する。相性が悪い場合は数十時間有し、相性が良い場合はすぐに培養反応が始まる。

培養反応

求愛反応後に夫婦細胞が見せる反応。培養機構への移動、細胞が生成器官を結合する形状へ自発的に変形する反応までをセットで指す。

※同機構内に準備孕体や免疫細胞が存在する場合は、それらが休眠反応中のみ、培養反応まで至る。

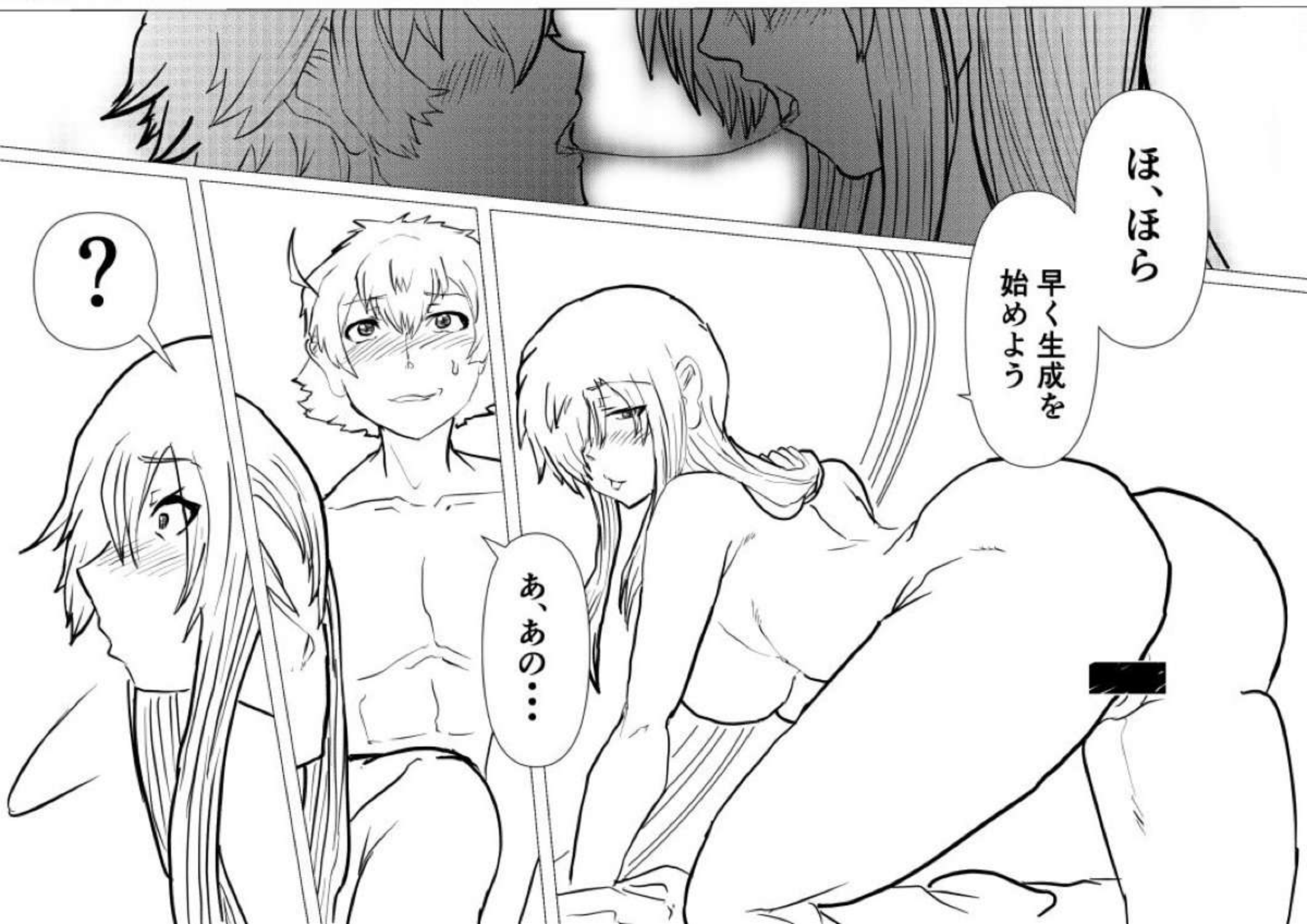
……またか？



結合反応

培養機構内で免疫細胞を本格的に生成開始した際に発生する反応。
交流機構内で取得した健康情報や異物情報を元に免疫細胞の機能が決定される。

免疫細胞生成の詳細なプロセス・時間は夫婦細胞ごとに異なる。
多くの場合、免疫細胞の生成回数を重ねるにつれ、長時間結合し、生成する免疫細胞の数を増やしていく。



?

あ、あの...

早く生成を
始めよう

ほ、ほら



情報取得用開口部

免疫細胞の即時性を高めるため、交流機構とは別に培養機構に設けられた情報取得用の区画。無防備な結合反応中に情報を取得するため、特殊な情報のみを通す成分で仕切られている。





あ、いや
そのつ、すね

異物の情報を
渡そうと……

今なら次の仔に
すーぐ反映できる
じゃないっすかあ♡



……わかった
早く情報を
わたしてくれ

う。。



すぐに中身を

確

ぽっ♡
あ♡
っ♡

んっ

貪食性結合反応

一定以上の相性を持つ夫婦細胞が、外的刺激を要因としてより深く結合を行う反応。
刺激の種類にもよるが、多くは執拗に種胚の植え付けを行うため免疫細胞生成はほぼ確実となる。
また、雌フラグ側細胞に従順反応を刷り込む結果になる。





結合反応の主導権

貪食性結合反応では、主に雄フラグ側細胞が主導して胚を植え付ける。
しかし、雌フラグ細胞側の元になった細胞によっては、主導権が逆転する場合がある。
逆転時は雌フラグ細胞が雄フラグ細胞を培養室の壁に押し付けて、胚を植え付けさせる。



細胞内育成期間

雌フラグ細胞内へ植え付けられた胚は、一週間程の時間をかけて孕体免疫細胞に生成・分化する。細胞内で育成される免疫細胞は2~4個になる為雌フラグ細胞は位置が大きく肥大化する。育成成分を分泌する器官も同時に肥大化し、排出された幼体への育成促進に備え始める。

走るな

おふろー



なんだ
勃ってしまったか

しょうがないやつだ♡

ア...

は、白血球さん!?

献身反応

相性が非常に良い夫婦細胞で発生する。
多くは、雌フラグ細胞が免疫細胞を細胞内で
育成中に、雄フラグ細胞が求愛反応を発露
させる条件で見られることが多い。
稀に結合反応まで至るケースもある。

が

ん♡

ふおら♡
ほら♡

我慢するな
ふあまんふるな♡

出していいいふお♡

お♡



排出反応の誘発

雌フラグ細胞内の免疫細胞が排出可能な状態になると培養機構の専用区画の仕切りが開放される。区画内に入った雌フラグ細胞は、排出補助成分を浸透させるために、細胞壁を外され、固定される。排出補助成分は、損傷を防ぐための細胞の挙動抑制剤と排出を補助するための陶酔誘発剤で構成される。





排出反応と補助

免疫細胞排出時は負担軽減のため、雌フラグ細胞に
負荷に合わせて陶酔反応を付与する。
その上で、「排出誘導管」と呼ばれる触手で拘束し、
排出補助あるいは排出が困難な場合には細胞内へ
挿入して免疫細胞を強制的に排出させる。





排出反応の相違点

排出時の反応時は元となった細胞の種類に大きく依存する。
培養区画を使用しない排出(強排出反応)や、排出に数時間～数日必要とする個体まで多岐にわたる。



成熟夫婦細胞の生成反応について

夫婦細胞となった細胞ペアの相性が非常に良く、かつ免疫細胞の生成を多く積んだ場合、雌フラグ細胞側から細胞壁(産後経験輪)を使った通常とは逆の求愛反応を見せることがある。



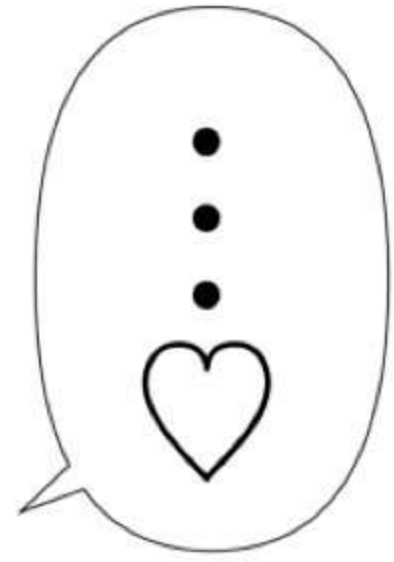


結合反応増強

雌フラグ細胞側から求愛反応を行った場合に発生する結合反応時の細胞の動きが激しい様。反応継続時間が延長されるなど、免疫細胞生成数増加の一助となっている。



結合反応増強の最たる例として、雄フラグ細胞から注入される胚の量が、通常の1.5から3倍まで増加する。量に応じて生成される免疫細胞の数も増加するが、求愛反応を行う雌フラグ細胞は多くの場合、生成の経験を積んでいるため、多胎状態に耐えうる状態である。



こうして今日もまた、
細胞達は
働いているのである。

…姐さん
すんごい格好だね

そういうな

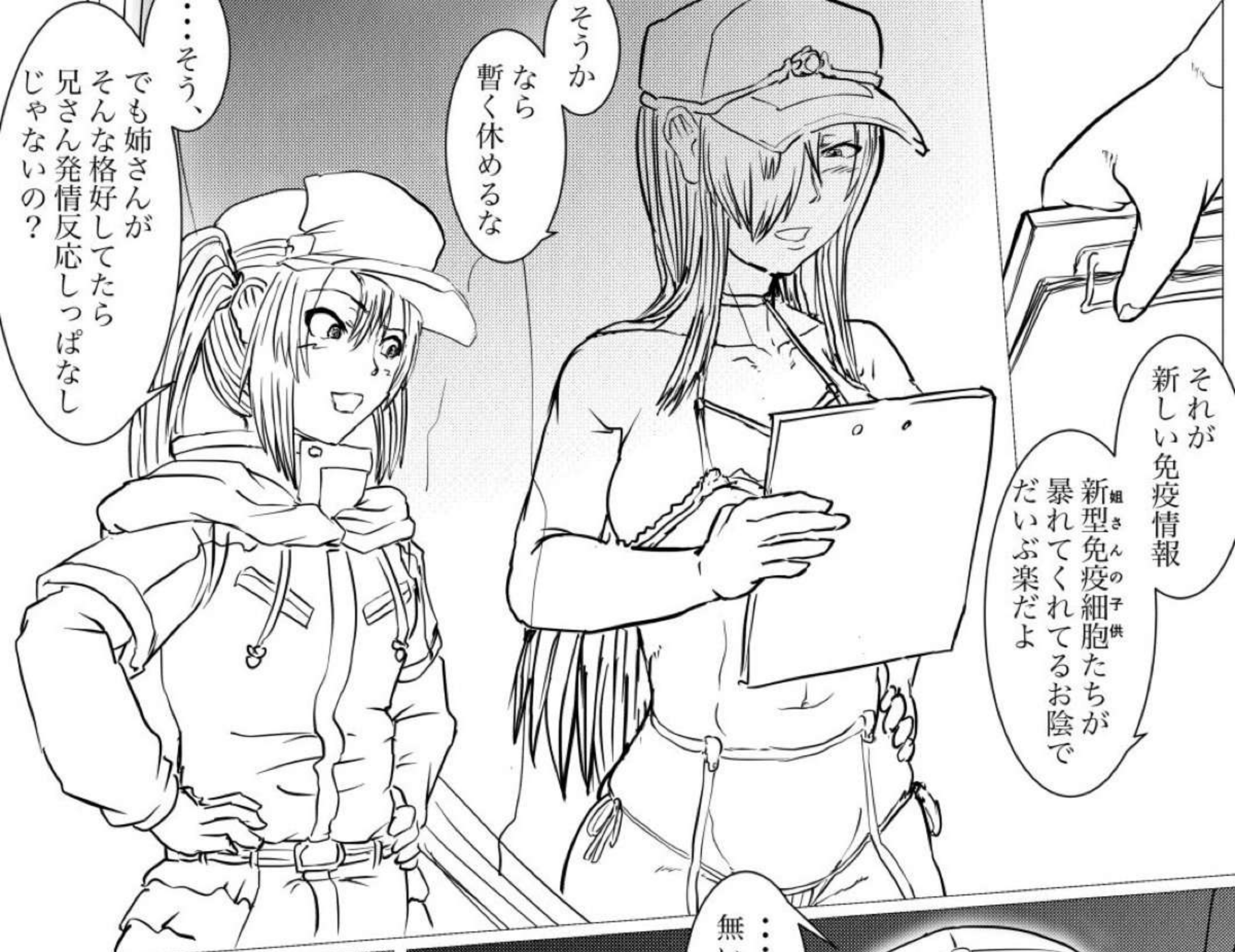
コレはきちんとした
細胞生成促進剤として
機能するんだ

…が

さすがにちよつと
恥ずかしいな

結合反応挑発紋

雌フラグ細胞側へ主に発生し、雄フラグ細胞の貪食性結合反応を誘発する作用を持つ細胞壁。相性が良く、期間の経過した夫婦細胞で見られる。発生が主に培養区画内に限定される他、発生条件が特定されていないため、観測が難しい。



でも姉さんが
そんな格好してたら
兄さん発情反応しっぱなし
じゃないの？

…そう、

そうか
なら
暫く休めるな

それが
新しい免疫情報
姐さんの子供
新型免疫細胞たちが
暴れてくれてるお陰で
だいぶ楽だよ



…この間、
交流区画に
行った時に、な…



え!?

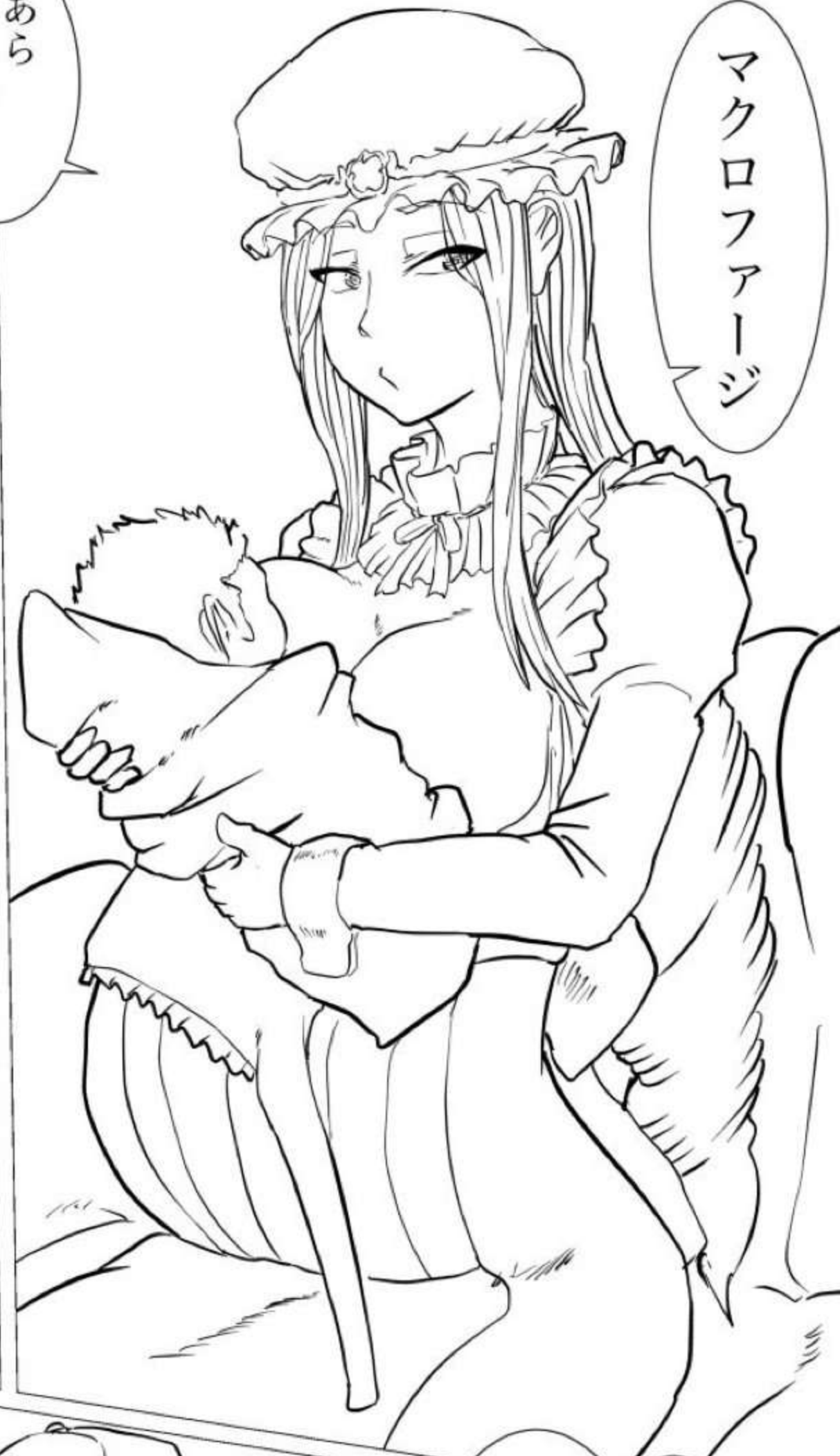
…そうでも
無いんだ

マクロフアージ

あら
白血球さん

ひさしぶりだな

変わらないか？



ええ

夫が元気すぎて
子供が増えすぎて
くらいね

聞いているよ

私の子供達からも
助かってると
報告が届いている

あらあら

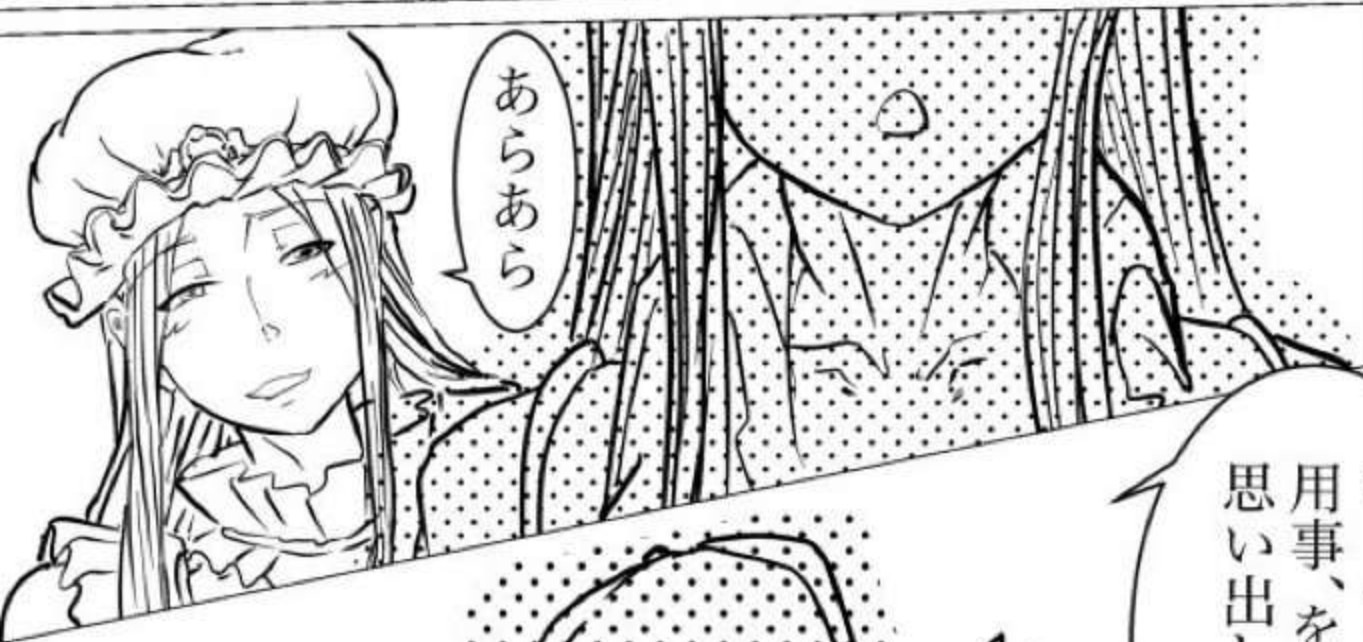


あ、こら

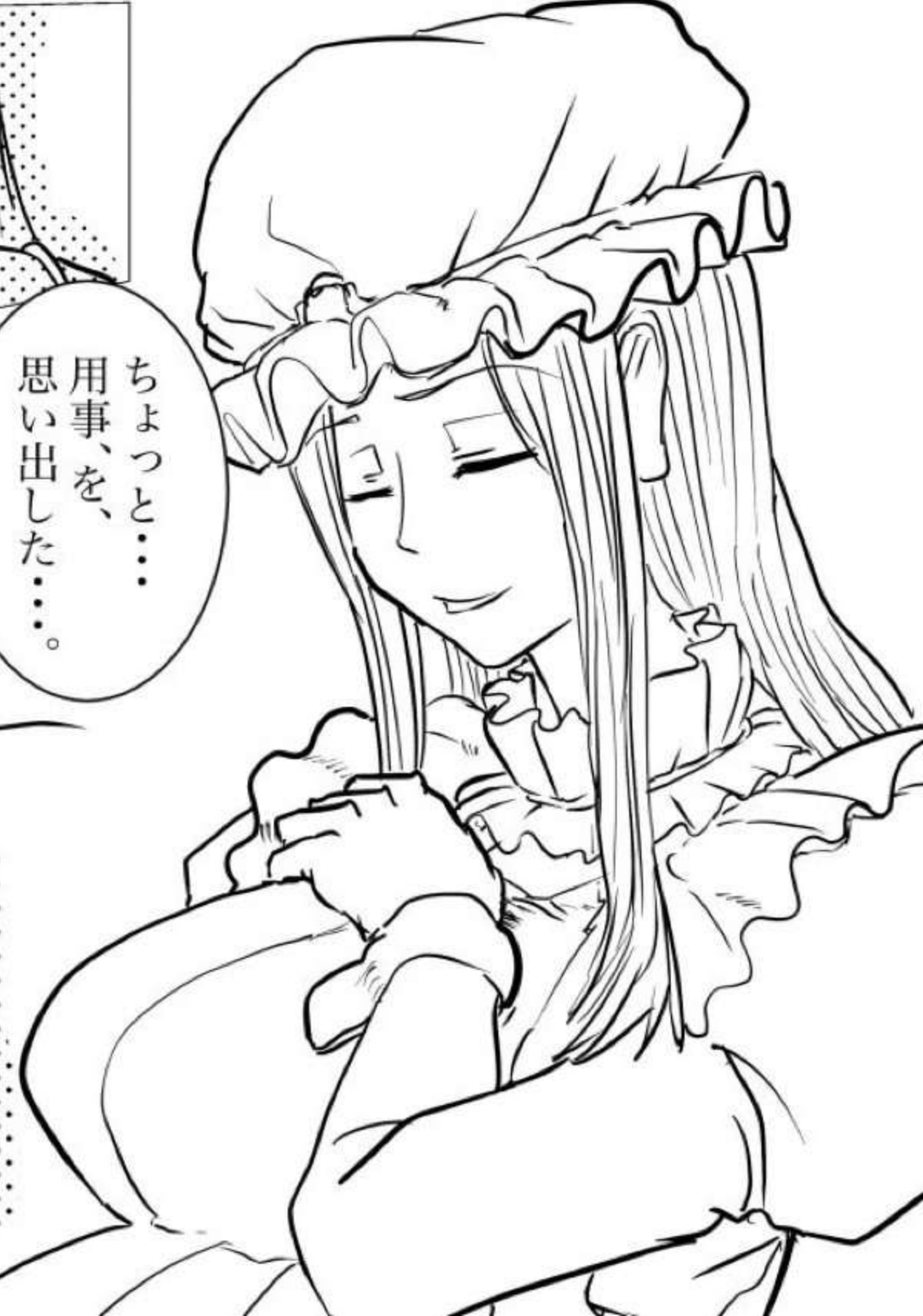
タンッ

あら、あれって
貴方の旦那さん？





ちよつと……
用事を、
思い出した……。



あまり
絞りすぎちゃ
ダメよ？

あら、そう

幹細胞さんも
順調そうで何よりです。

ふふ
ありがとうございます

今はもう
あなたたちをデトックス
しなくていいから、
十分大切にされてるわ



あなたも
奥さんを大切に
してあげて



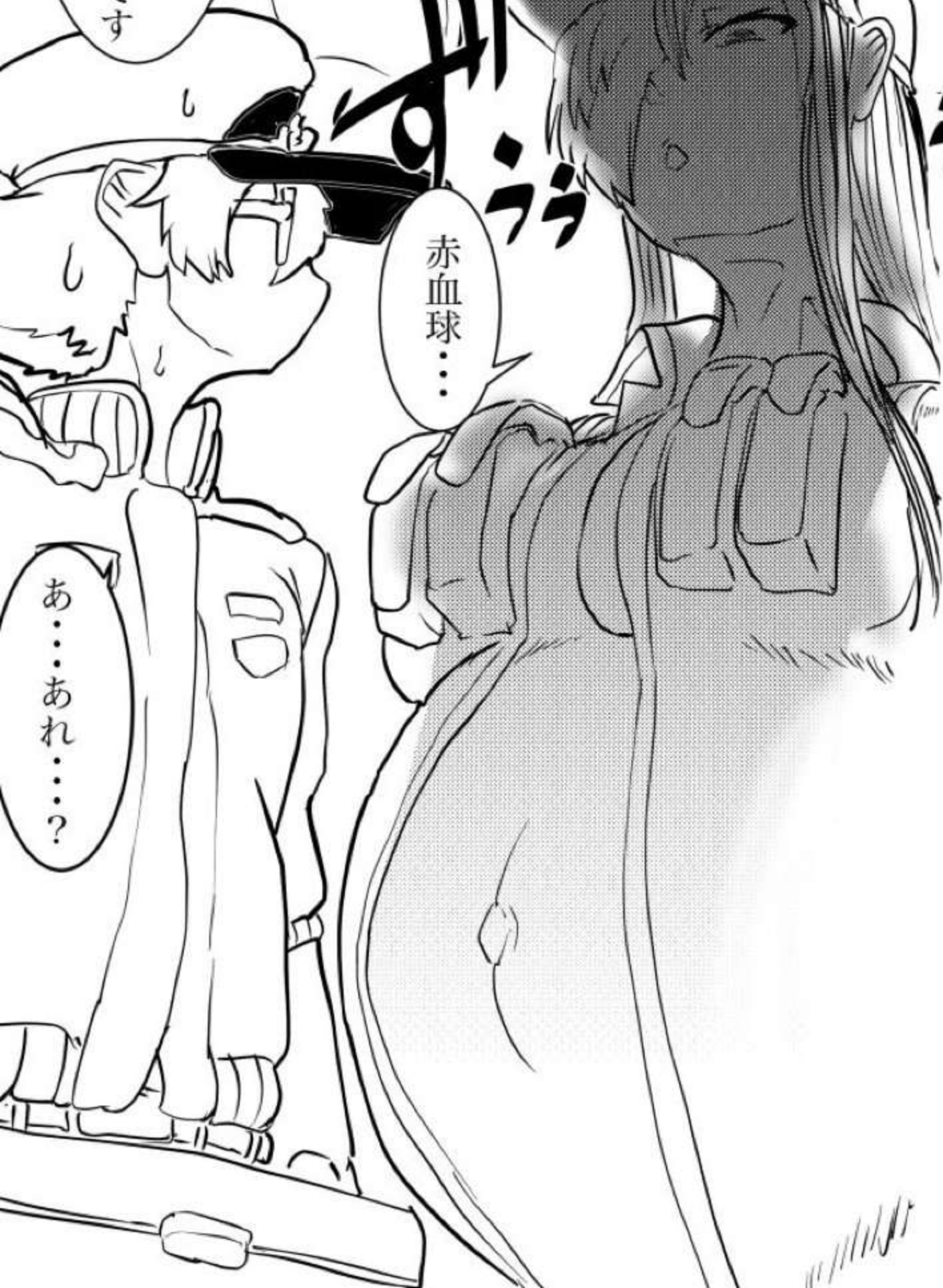
はい!
誰より
大事にするつもりです



赤血球…

じゃあ、
早速タイミングが
来たみたいよ?

あ…あれ…?



は……
白血球さん……？

もちろん
その夜は散々
絞ってやったがな

私がいるのに
目移りする余力は
要らない

ちよつと
絞り過ぎたかも
しれないが……

浮気者には
必要なお仕置きだ

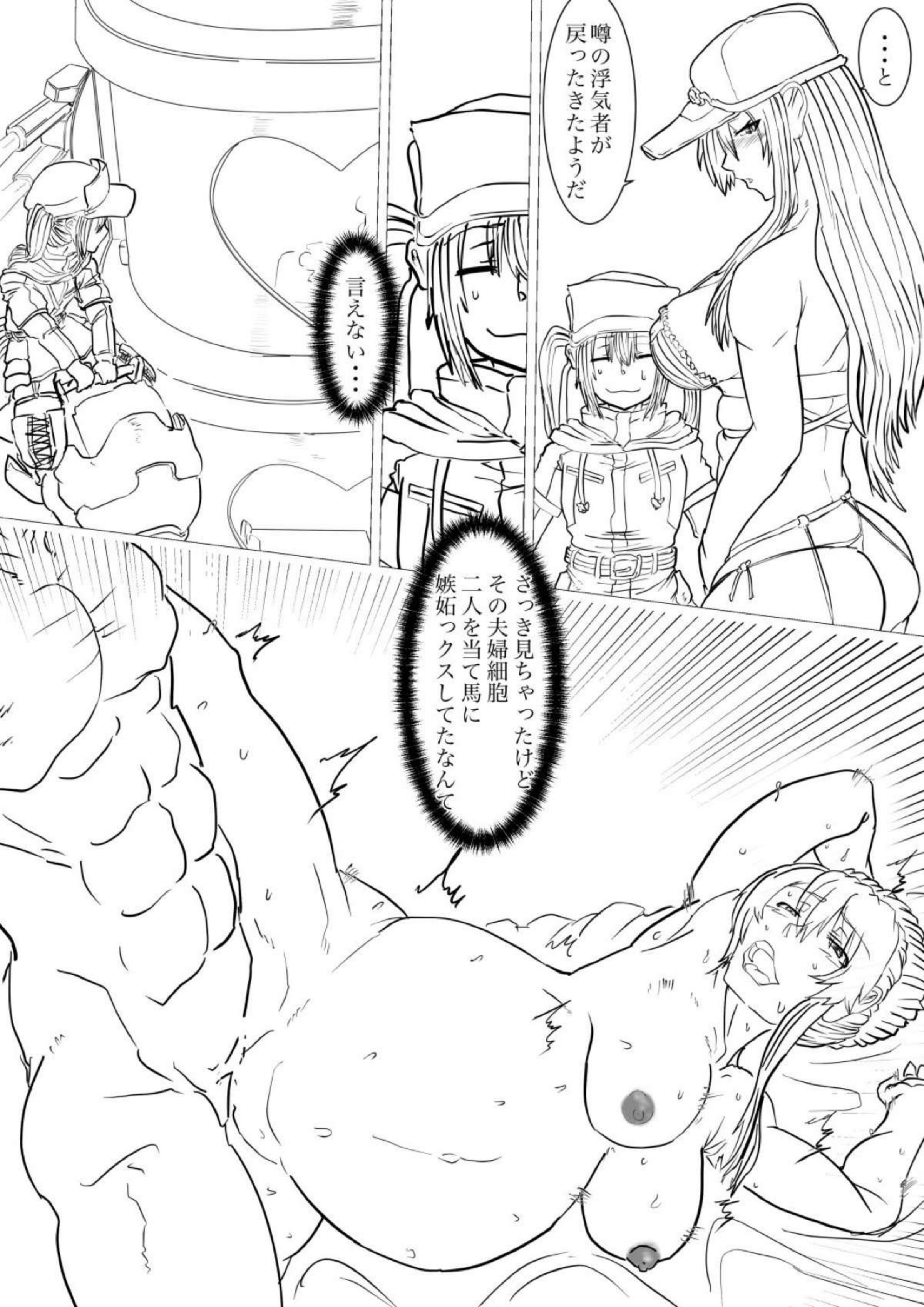


...

噂の浮気者が
戻ったきたようだ

言えない...

さつき見ちやっただけど
その夫婦細胞
二人を当て馬に
嫉妬っクスしてたなんて

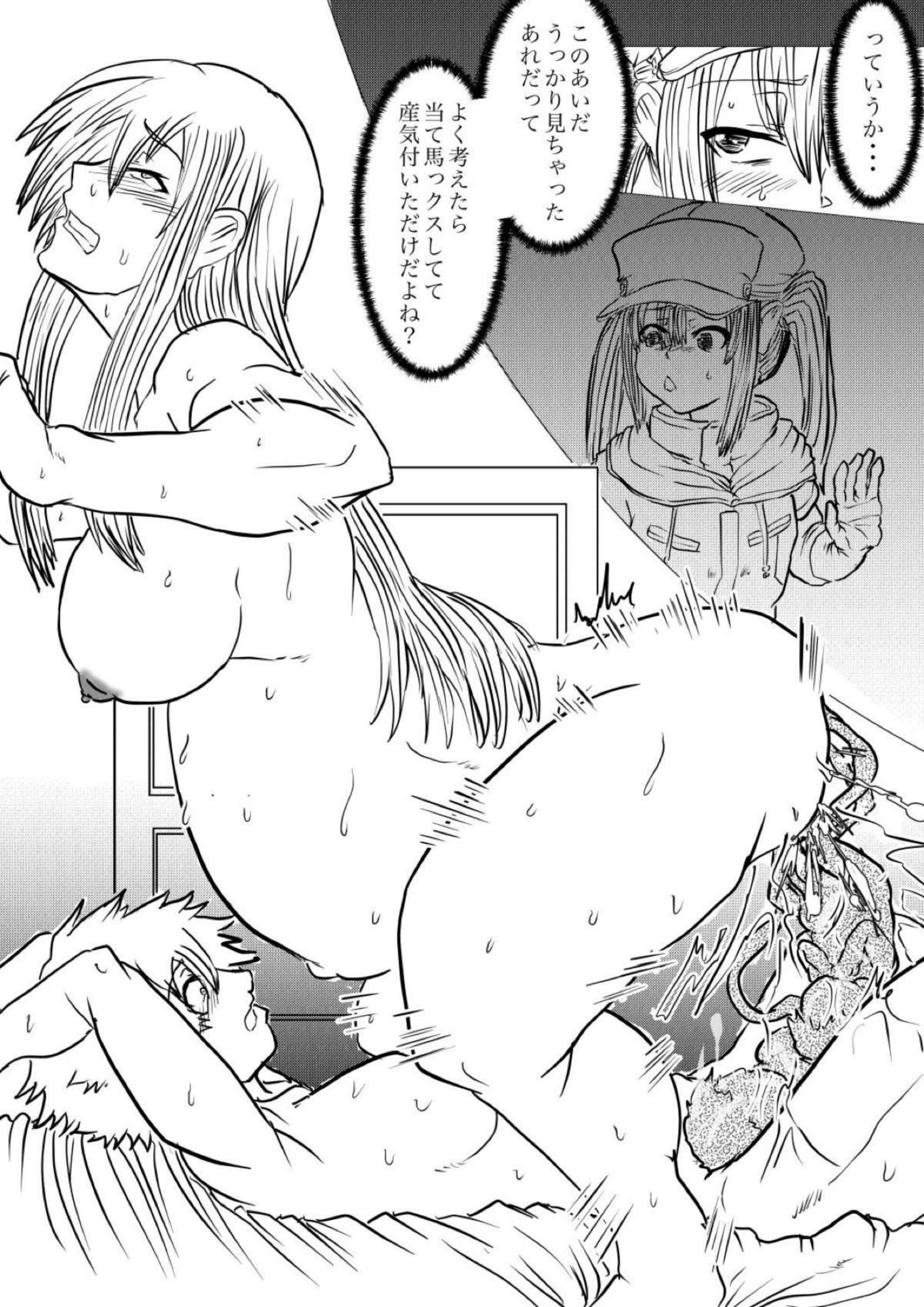




っていうか……

このあいだ
うっかり見ちゃった
あれだって

よく考えたら
当て馬つくすしてて
産気付いたただけだよな？





止まら、ない♡

か
い

は
も、もう行って、くれ...

この、装備♡
効き過ぎて、な♡

その

ん

ん

びく
びく



ふるいれすふお
ずるいですよ
ふあつけつきゅう
白血球さん……!!

ふおんな
そんな、
ふあっこつう
格好……!!



だめ、だ……

まて

い、い、い



